

応援メッセージ

土屋ホーム スキー部 選手兼監督
葛西 紀明

(ソチオリンピックスキージャンプ男子ラージヒル銀メダリスト)



旭川医科大学が、40年以上にわたり、日本最北の医科大学として、世界水準の知見を基に、学生教育・医学研究・患者診療のいずれの面からも地域医療を支えてきたことに対し心より敬意を表します。

私達スポーツ選手にとって、競技を行うための体調管理は重要であり、日々のトレーニングや食事の管理、怪我をした際の適切な治療等、体のケアが必要となりますが、その他にも競技を支えてくれる家族・関係者の健康や病気についてもメンタル面において大きく影響します。自身の怪我や家族の病気・事故など、これまで医療関係者や医療機関と関わりをもつことは多くありましたが、道北の下川町出身の私にとって、地域医療を支える旭川医科大学の存在は大きなものです。

広大で、冬の気候が厳しい北海道において、どこに住んでいても、健康に関する最新情報入手することができ、また患者・家族の負担を少なくできる遠隔医療を受けられるという、旭川医科大学がこれまで目指している地域医療の形は、ここ北海道に生活する者皆が心より望んでいることと思います。

地域間の医療格差の問題や、超高齢社会に直面する中、地域医療への貢献という目標を掲げ、地域医療を志す医師・看護職の養成や、遠隔医療の発展など、今後も地域の未来のために努力する旭川医科大学の“新たな挑戦”を私も応援いたします。

A handwritten signature in black ink, which appears to be '葛西 紀明' (Katsunishi Noriaki).